

# 興奮する

## Hyper Dog

子イヌはもともと騒がしく、興奮しやすい生き物です。子イヌは人に出会ったとき、遊んでいるとき、相手の機嫌を取ろうとするときは、動作が大げさになりがちです。

しかし、成犬になってもうるさくて興奮しやすいとしたら、それはしつけ不足であり、飼い主は無意識であってもそうなるように強化してしまったのです。

それなのに人は、イヌが成犬になって同じことをすれば怒るのです。

どこが悪いって、単に大きくなっただけじゃないですか！



 レッドハート株式会社

<http://www.redheart.co.jp>

残念ながら、成犬になってから元気いっぱいになる舞うと、イヌはよく虐待を受けます。たとえば、トレーナーの中にはイヌが跳び上がっただけで、「大声で叱りなさい」、「顔に水かけてやりなさい」、「新聞紙をまるめて鼻をびしゃりとやりなさい」、「リードを引っ張りなさい」、「チョークカラーで首を締めなさい」、「前足をぎゅっと掴みなさい」、「後ろ足を踏みつけなさい」、「ひざ蹴りしなさい」、「ひっくり返して仰向けにしなさい。」とアドバイスする人がいます。これは明らかに、こんにちと言おうとしているだけのイヌには残酷な話です。孔子も言うように、「額にとまった蠅を追うのに斧はいらない」のです。人に挨拶をするときはオスワリをするのだと教えるだけで十分です。

賢く、やさしくいきましょう。イヌに「落ち着いて」や「しいー」と言われたらおとなしくするように教え、行儀良く来客を迎えるにはどうしたらよいかも教えてあげてください。イヌが吠えるのも興奮するのもコントロール可能なのです。

### 「オスワリ」と「落ち着いて」

ご褒美を使ったトレーニングで、イヌにオイデ、オスワリ、フセを教えます。「オスワリ」や「フセ」といった単純な指示で、イヌの問題行動のほとんどが解決するからです。子イヌがイライラする行動をとるたびに、「だめ、だめ、だめ!」、「やめなさい!!」というのではなく、「フセ」と言って、できたら褒めてご褒美をあげてみてください。イヌが素直にフセをしていたら、できないことがいっぱいあります。たとえば部屋を走り回る、自分の尾を追いかける、ネコを追いかける、家具に飛び乗る、車中を飛び跳ねる、玄関から飛び出す、子どもに飛びつく、などはできません。そうです、フセと問題行動のほとんどは同時に行うことができないのです。ですから、フセと要求されたらフセをするように子イヌをしつけるのです。

食事を食器に入れて与えるのではなく、朝フードを量って、1粒ずつルアーやご褒美として使って、1日何回も5秒間トレーニングを行ってください。あちこちの部屋で、車内（止まっている間）で、そして散歩中にも練習してください。20メートル歩いたらオスワリ、フセ、オスワリ、タテ、フセ、タテをさせます。そうすれば2日もすれば、まったく違うイヌに変身しているでしょう。

また、ご褒美トレーニングは、手に負えない落ち着きのないイヌに対して驚異的な効果があります。まずフードを1粒手に持って、じっと立ったまま、指示は一切出しません。イヌがどうするか見てみましょう。おそらく、あらゆることをやってみせるでしょう。ちよろちよろする、クルクル回る、跳び上がる、なめる、前足を上げる、後ずさりする、吠える、そしていずれ、オスワリまたはフセをします。オスワリしたら（またはフセでもかまいません）すぐに褒めてフードを1粒あげましょう。そして、また一歩前に進んで、イヌがオスワリするまで待ちます。この手順を、あなたが1歩前に進んだらすぐにイ



 レッドハート株式会社

<http://www.redheart.co.jp>

又がオスワリできるようになるまで繰り返します。できるようになったら段々とフードを与えるタイミングを遅らせます。「いい子だ・ワン、いい子だ・ツー」と数えてもいいでしょう。数えている間にイヌがオスワリを崩してしまったら、背を向けて、3秒のタイムアウトをとり、また同じことを繰り返してください。そうしているうちに、イヌはフードが欲しくて、飼い主の顔を見上げておとなしくオスワリするようになるでしょう。ついには、「いい子だ・20」を数えるまで、おとなしくしていただけるようになります。

どの部屋でも同じことを繰り返してください。散歩のときも20メートルごとに立ち止まってイヌがオスワリをするのを待って、オスワリしたら褒めて、また散歩を続けます。1食分のフードをこの方法で与えながら、20メートルごとにオスワリさせる散歩をすれば、とても落ち着いたイヌになるでしょう。

## 跳び上がる

跳び上がることについて特に取り上げる必要があるのは、それがフラストレーションになりやすく虐待の原因にもなるからです。最初から子イヌに人が来たときはオスワリすることを教えてください。理論的にも「オスワリ」はうまくつかえるはずですが、なぜならオスワリと同時に跳びつくことはできないからです。最初は、人が来たら興奮して言うことを聞かず、オスワリしないかもしれません。では、どのようにトレーニングを進めていけばいいでしょう。

まず、人と出会う場所でオスワリを練習します。たとえば、リードをつけて外で、玄関でも練習しましょう。そして、10人ほど友だちを招いてドッグトレーニング・パーティーを開きます。この日は、来客または散歩中の友だちの手から夕飯を与えてもらいます。初めての来客にはオスワリして挨拶ができるまで少し時間がかかるでしょうが、オスワリしたら褒めて、来客からフードを与えてもらいます。その来客にまた外へ出てブザーを鳴らしてもらいます。これをマナーよく3回続けてできるまで繰り返します。そして、他の9人の来客にも同じことをしてもらいます。1回のトレーニングパーティーで100回以上の練習ができるでしょう。来客が帰るときも1人ずつ家の周りの道を歩いてもらいましょう。飼い主はイヌをリードにつないで反対側から歩いていきます。1人会うたびにオスワリを指示します。オスワリをしたら、出会った人から2粒ほどイヌにフードを与えてもらいます。5周すれば50回歩道で挨拶を練習したことになります。これで来客に対しても、道で出会う人にも、すぐ心を込めて挨拶ができるようになりました。



 レッドハート株式会社

<http://www.redheart.co.jp>

## 合図でイヌをその気にさせ行動させる

イヌにもストレスを発散する機会が必要です。ですから、都合のいいはけ口を与えてあげましょう。フライボールやアジリティーのクラスに入会するといいいでしょう。公園でテニスボールやフリスビーを使ってモッテコイをしたり、ヨーヨーリコール（2人の間を行ったり来たりさせる）をするなどして遊んであげましょう。とにかく「バカ騒ぎ」してもいい時間を作ってやりましょう。シャボン玉に跳びつかせたり、引張りっこをしたり、家中を追いかけまわしたりします。または合図があれば跳び上がって「お帰り」の挨拶をしてもよいと教えてもよいでしょう。



## 配布元情報

名前	
〒	
住所	
電話番号	
FAX 番号	



詳細は、

- ・イヌのしつけがうまくいくちょっとした本
  - ・ダンバー博士の“ほめる”ドッグトレーニング (ビデオ・DVD)
- をご参照ください。

こちらの書籍・DVDのお買い求めは

山中湖  
ドッグリゾート **woof**® ワフ

# Happy Wags

ハッピーワグス ネットストア

<http://dogresortwoof.shop-pro.jp/>

この電子書籍のお問い合わせ先 ▶

レッドハート株式会社

〒650-0012

兵庫県神戸市中央区北長狭通 4 丁目 4 番 18 号

富士信ビル 4F

TEL 078-391-8788(代) FAX 078-391-7677

 **レッドハート株式会社**

<http://www.redheart.co.jp>